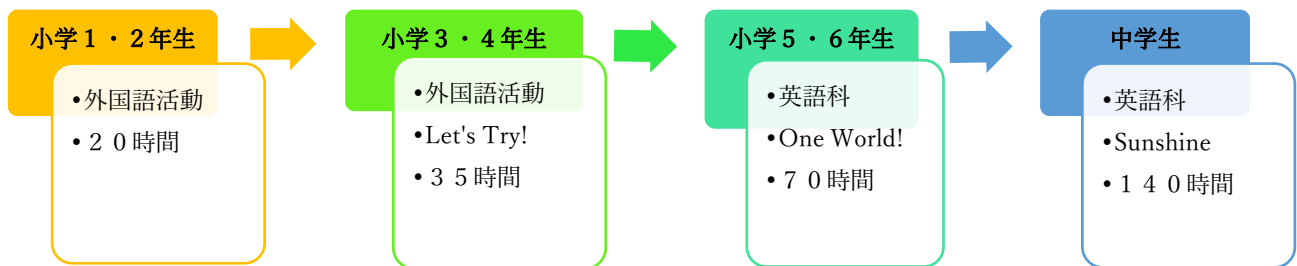


本山小学校の英語教育について

本山小学校では、平成29～令和元年度にかけて、五島市教育委員会指定「確かな学力（外国語活動・英語科）研究発表」を行いました。その中で、研究主題「心がつながらる英語教育～考えや思いを伝え合う喜びを感じられる児童の育成～」を掲げて英語教育の充実に努めました。研究を通して得た成果を継承しながら、令和2年度からの英語教育を進めています。1年生からの早期英語教育に取り組み、グローバル社会で通用する力を身に付けることを目指しています。基本的な単語や表現を使って、楽しみながら英語に慣れ親しんでいます。本山小学校の子ども達も、英語の時間が大好きで、ALTと一緒に、英語の時間を楽しんでいます！

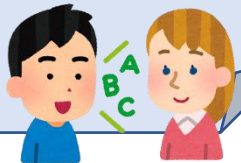
本山小学校の英語教育の流れ



英語教育の成果と課題

【成果】

- ・低学年でも継続的に英語に親しむことができるよう、モジュールタイム15分間を週に1日設定している。
- ・ALTにも積極的に関わろうとする児童も多い。
- ・英語の授業中も、友達同士積極的に英語を使ってコミュニケーションを取ろうとする姿が見られる。



【課題】

- ・英語に苦手意識をもつ児童も少なからず見られる。
- ・学年が上がるにつれ、活動に消極的になってしまう児童もいる。



全学年本山スタンダードを作成し、ALTとの連絡・調整に生かしている。そのため、担任教師とALTとがスムーズに連携しながら授業を進めている。
また児童も、外国の文化に触れて、英語への興味関心が高まっている。

【保護者アンケートより（4段階評価）】

子どもは英語の学習を楽しんでいる。

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	全校平均
3.6	3.5	3.5	3.0	3.1	3.1	3.3

子どもは国語や英語などを通してコミュニケーション能力を高めている。

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	全校平均
3.5	3.3	3.3	3.0	3.1	3.0	3.2

概ね高い評価を得ている。しかし、学年が上がるにつれ評価が下がっている実態もある。

